

平成31年度 都立学校・学校経営シート

校章		都立青梅総合高等学校		全日制課程		進路	実績	46%	短期大学	6%	専門学校	31%	就職	7%	その他	10%		
		<p>自分でつくる、自分の未来</p>						109名が大学進学(上智1名、GMARCH10名、成成明武5名、日東駒専11名合格) 陸上、バスケットボール、剣道、ソフトボール、硬式テニス、ソフトテニス、硬式野球、バレーボール、卓球、バドミントン、和太鼓、吹奏楽、軽音楽等、32の部、同好会 「科目選択、卒業後の進路相談」については生徒、保護者、教職員ともに約90%が肯定的評価をしている。										
基本情報	所在地	〒198-0041 青梅市勝沼一丁目60番地1		電話番号	0428-22-7604		募集人員	236人(推薦:男女72人、一般:男女164人)										
	アクセス	(1) JR青梅線 東青梅駅南口下車 徒歩3分 (2) (3)						入学者選抜情報	29年度入学生	推薦	男女	2.61	30年度入学生	推薦	男女	2.36	31年度入学生	推薦
本学	総合学科					その他	学力検査				男女	1.23			学力検査	男女		
生徒数	705人(男 270人 女 435人)							その他	その他	陸上競技・剣道・女子バスケットボール・女子ソフトボール、女子バレーボールで文化・スポーツ推薦を実施								
教育課程の特徴	100科目以上の選択科目があり、「生命・環境」「食品・生活」「国際・文化」「文科・理科」の5系列の学習ができる。平成26年度より土曜日授業を開始(週32)					その他	その他			合唱祭(6月)、文化祭(9月)、体育祭(9月)、マラソン大会(2月)、海外修学旅行(2年)他								
ホームページ	<a href="https://www.metro.ed.jp/omesogo-h/">https://www.metro.ed.jp/omesogo-h/</a>		自律経営推進予算	31年度(単位:万円) 4,221				その他	その他									
その他	ドイツ国ポッパルト市や海外修学旅行等の国際交流事業		校 服	有														

目指す学校 総合学科高校として、「自主」「創造」「探求」「開拓」「貢献」の5つを学校目標とし、地球規模の視野、歴史的な視点、多元的な視点で物事を考え、未知の事態や新しい状況に的確に対応していくことのできる人材を育成する。

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価	
目標①	<p><b>「自分でつくる、自分の未来」の具現化を推進</b></p> <p>①ルーブリックを活用した自分で「考えさせる」学習活動の推進                      ②データを活用し、授業外学習時間を増加させる学習活動の推進                      ③大学講話や進路ガイダンス等の高大連携を推進                      ④総合学科の多様な授業を活用した資格取得の推進</p>	<p>①ルーブリックを活用し「考えさせる」授業を推進し、自己評価力の向上を図った。                      ②学習状況と成績の推移を把握し、生徒自ら考えさせて課題解決意欲を引き出させた。                      ③産業能率大学・東京農業大学をはじめ、各大学と覚書を取り交わし推進させた。                      ④GTEC、漢字検定など各種検定を推進し、生徒の進路実現が意欲的になり、国立大学受験合格者を出すなど実績を出せた。</p>	
目標②	<p><b>生徒同士が高め合い磨き合う学校行事・部活動の推進</b></p> <p>①オリンピック・パラリンピック教育を通じたグローバル人材の育成                      ②行事や部活動を通じて人間関係形成能力や自己効力感を育成                      ③国際交流リーディング指定校としての国際理解教育の推進</p>	<p>①野球のオリンピック出場選手の講演を受け、この「夢・未来プロジェクト」を通じて、オリンピックへの機運をさらに高め、大会に関わる意識の向上を図れた。                      ②文化部全国大会出場、陸上部関東大会出場など多くの優れた結果を残し、自己表現の場として達成感や自己有用感を味わい、生徒全員の学校生活意欲向上につながった。                      ③姉妹校交流の持続的可能な実施に向け、ホームステイ受け入れバンクの組織化を推進した。またTGGを活用し、グローバルな視野の育成も推進させた。</p>	
目標③	<p><b>情報発信・提供の強化と地域連携の推進</b></p> <p>①総合学科としての組織的な取組や成果の「見える化」を推進                      ②食農教育改革を軸とした農業科による地域連携を推進                      ③家庭科による選択授業を軸とした地域連携を推進</p>	<p>①学校ツイッターやホームページを随時更新し、本校の教育活動、総合学科としての組織的な取り組みやその成果をタイムリーに発信し、「見える化」を推進させ、情報提供した。                      ②③農業科・家庭科において、30回の地域推進活動を実施し、地域に応える学校作りを推進させた。地域における学校満足度は100%である。</p>	

数値目標	今年度の数値目標の内容	28年度		29年度		30年度		今年度		32年度	33年度	34年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	卒業生の進路決定率95%以上	95	92	95	98	95	99	95	100	95	95	95
目標②	生徒の学校満足度80%以上	82	74	80	80	80	78	82	82	82	82	82
目標③	生徒の校則、マナーの遵守度90%以上	99	86	90	97	92	95	94	93	94	99	99